



梅木 悠成くん (市坪南一丁目) 12月8日生まれ



宇都宮 愛結ちゃん (安城寺町) 12月7日生まれ



坂本 橙哉くん (平田町) 12月15日生まれ



嶋谷 咲希ちゃん (北久米町) 12月11日生まれ



▷745



川端 柁真くん (吉藤五丁目) 12月17日生まれ



麓 結衣ちゃん (枝松六丁目) 12月15日生まれ



西窪 隼斗くん (竹原四丁目) 12月23日生まれ



橋本 莉来ちゃん (上野町) 12月18日生まれ

誕生日の前月1日(必着)までに、郵送・eメールで赤ちゃんの写真、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、住所、電話番号(郵送の場合は写真の裏に記入)を、〒790-8571 広報課 kouho-baby@city.matsuyama.ehime.jpへ(応募多数の場合は抽選・応募写真は返却しません)

12/4~2/20
平成22年度 特別展 「子規との別れ」
「涙は無用に候」

子規の晩年から死に至るまでの資料を展示し、さらに子規の志を受け継いで後世に活躍した友人や門人らを紹介します。

【期間】12月4日(土)~平成23年2月20日(日)
※会期中、資料の展示替えを行います

▲子規遺品の毛布

▲高浜虚子句・下村為山画「子規と月」

お問い合わせは、(教)子規記念博物館事務所 ☎9315556
FAX 9343416へ

かがやき松山大賞

第21回全日本バレエコンクール「シニア女性部門」・「シニア部門総合」 **全国第1位**

上村 悠さん

8月に東京都であった同大会の2部門(シニアの部19~25歳)で全国1位を受賞した上村悠さんに10月20日、かがやき松山大賞が贈られました。

上村さんは7歳からバレエを習い始め、道後中学校卒業後、ロシアのバレエアカデミーに留学し、今年6月に帰国。「もっと技術力や表現力を高め、人を感動させられる」

7~8月に沖縄県であった同大会の七種競技で優勝した高須賀選手に10月26日、かがやき松山大賞が贈られました。

陸上七種目の合計ポイントで順位を競うため、幅広い運動能力が求められる同競技。「幼少のころからラグビーや新体操、スイミングなどいろいろなスポーツに親しんだこ

とが役立つと思います。大学に進学して日本選手権で勝負できる選手を目指します」と目を輝かせていました。

第28回JAWA全日本アームレスリング選手権大会 男子レフトハンド65kg級 **優勝**

高須賀 眞子選手 (聖カタリナ女子高3年)

平成23年 1/8・22・29
野外活動 センター 新春陶芸教室

昨年「現代の名工」に選ばれた砥部焼伝統工芸士の白濁八洲彦さんを講師に招き、灯油窯を使った陶芸教室を開催します。

【日時】平成23年1月8日・22日・29日。いずれも土曜日の13時30分~16時(29日は15時まで)。全3回

※平成23年3月にも開催予定
【場所】野外活動センター(菅沢町)

【内容】8日||器作り||22日||絵付け||29日||作品発表会・引き渡し

【定員】30人(応募多数の場合は抽選)

【料金】1500円

【申し込み】12月21日(必着)までに、はがきまたは電話で住所、氏名、年齢、性別、電話番号を〒7992648菅沢町乙280野外活動センター「陶芸教室」係へ

お問い合わせは、野外活動センター ☎972400・FAX 972662へ

9月に東京都であった同大会のレフトハンドで優勝した原選手に11月1日、かがやき松山大賞が贈られました。

12月にアメリカ・ラスベガスで開催の世界選手権に日本代表として出場する原選手は「昨年は6位だったので、それより一つでも上に行けるよう、力の限り闘ってきます」

9月に三重県であった同大会(35歳以上)テニス競技のシングルで優勝した中岡選手に11月8日、かがやき松山大賞が贈られました。

6歳からテニスを習い始め、現在は市内のテニススクールなどで後進を指導。「来年はダブルスでも優勝を目指します。松山から世界で活躍する選手を育てるのが夢です」と意気込みを語りました。

と決意を述べました。

日本スポーツマスターズ2010三重大会 テニス競技 男子シングルス **優勝**

原 実誠選手

中岡 紳治選手

しまはく未来宣言

しまはく未来宣言。
2010年春、わたしたちが暮らす島で、「しまはく」がはじまりました。たくさんの人が海を渡って、島と出会い、たくさんのイベントを通して、たくさんの人が出会いました。訪れた人の笑顔、それを迎える人の笑顔、島には笑顔がいっぱい、あふれていました。出会いのあとには、待っていた別れ。船を見送る時にいただいた言葉、「楽しかった。また来ます」に、胸が熱くなりました。今日、たくさんの人の心に、たくさんの感動と思い出を残して「しまはく」は幕を閉じます。でもこれは終わりではなく、未来へのはじまりなんだと、わたしたちは思います。次のステップにつなげるために2010年の「しまはく」に負けない、新しい「しまはく」を創っていくための。

また「島の島を描く絵画展」表彰式やイベントの実施に尽力した団体などをねぎらう「活躍の証」授与式などがあり、最後に中島小学校児童がこれまでのイベント参加者への感謝と今後の島への思いを「しまはく未来宣言」として読み上げると、会場は大きな拍手に包まれました。

お問い合わせは、企画政策課 ☎9486943・FAX 9341804へ



中島地域の住民に親しまれている「白いおりの島へ」を合唱する中島小の児童

「これからが本当の始まり」
エンディングイベントで見送る誓う

本年4月から開催している松山島博覧会「しまはく」のエンディングイベントが、10月31日に中島総合文化センターで行われ、約400人が参加しました。

イベントは、中島中学校生徒による豪快な中島水軍太鼓が鳴り響きスタート。松山島博覧会・田中政利実行委員長は「島を活性化させたい」との思いから始まり、今では9島が連携でき心が一つになったと思う。将来、自信に満ち溢れた島になることを願い、今日で終わりでなく、今日から始まりにしたい」と今後の決意を述べました。

また「松山の島を描く絵画展」表彰式やイベントの実施に尽力した団体などをねぎらう「活躍の証」授与式などがあり、最後に中島小学校児童がこれまでのイベント参加者への感謝と今後の島への思いを「しまはく未来宣言」として読み上げると、会場は大きな拍手に包まれました。

「しまはく」の写真に見入る参加者